

(資料)

天保十二年「西国順礼万日記」(藍地区前田氏所蔵)

凡例

- 用字は常用漢字を原則とし、変態仮名の類も一部を除き常用の字体とした。
- 破損などにより解読不能の文字は□で示した。なお字数が不明の場合は「」で示した。
- 字句の訂正や挿入は、原則として修正の結果のみを示した。
- 本文中にままみられる鉛筆による加筆はすべて省略した。
- 校訂者の案により適宜読点を施した。
- 校訂者による注記は()で示した。
- 翻刻・校訂は生涯学習課市史編さん担当で分担した。

(表紙)

「辛

天保十二年
丑七月廿日立、丹後成相打初

八月廿日下向、播磨清水にて休

花山院へ寅三月廿八日参り

法花山書写各寺へ同十五年辰七月廿一日立廿四日下向

西国

万日記

順礼

摂州有馬郡大川瀬湯谷

願主甚五郎

大川セ京蔵、孫蔵

同行 東向与右衛門

観「(世音カ)」「□(留カ)三郎、秀前

万日記

当地より 小峠壱ツ有、日出坂峠といふ也

古市へ三り、此間峠壱ツ有

古市よりをいれ(追入)へ三り半、此間平地也

あげの川有、はしちん式文

をいれより国領へ壱り半国領峠有下り坂上り下り壱り程有、ことの外きつい坂也

峠ニ地藏堂有

廿日朝ゆふたち致天氣成也

朝万事こしらへを致五ツ立、日出坂へ寄休、同所峠にて同行打揃

古市中程右かわ

一中食 住屋治兵衛

さい代八文

古市より二り程行道辻にて小休致
休をいれ吉のや、此家ハ札幌之まへ

酒代廿文

今日道法八り也

宿へ

早六ツ附

丹州氷上郡国領

一泊り 上宿 角屋善助

札幌之角之家、此所宿やすくなき所也

きちん五十文

米八十五文かへ

五十壺文米代割

廿一日朝七ツ半過立、天気よろしく

国領より福知山へ五り此間平地也、小坂壺ツ有、小川二ツ有 は

し有

壺り余り行宿や有、をふた(ママ)村、次ニ梶原村

休二ツ目へ川をこへ右かわの次の家

一中食 福知山本町三丁目広こふじ

二のさし

船場行右之角屋

福知山より木森(河守)へ三り此間下り船道、平地也

壺り余り行ちとせ川有、榎(ママ)村迄ふなちん六文

木森より外宮へ半り、外宮より内宮へ半り余り、内宮より中

の茶やへ壺り半

此間道あしく

中の茶やよりかんと茶屋へ壺り

ふこふ(普甲)峠有、上り半り下り半り此峠より海見ゆる也

休こふもり(河守)、船上り場ふちのうへ道辻にて

一外宮様へ八ツ時ニ参り

宮津領道へト

休内宮へ別れ道のねき、角屋要助

せんめし十二文、これより少々坂有

一内宮様へ八ツ時過ニ参り是より下坂有、又ハ上り坂も有又ハ下り

坂も有

休中の茶屋栗田や長治

酒代九文

七ツ半過ニ宿を取

今日道法十壺り半

丹後国がんと茶屋入口右かわ

一泊り 中宿 中茶屋喜助